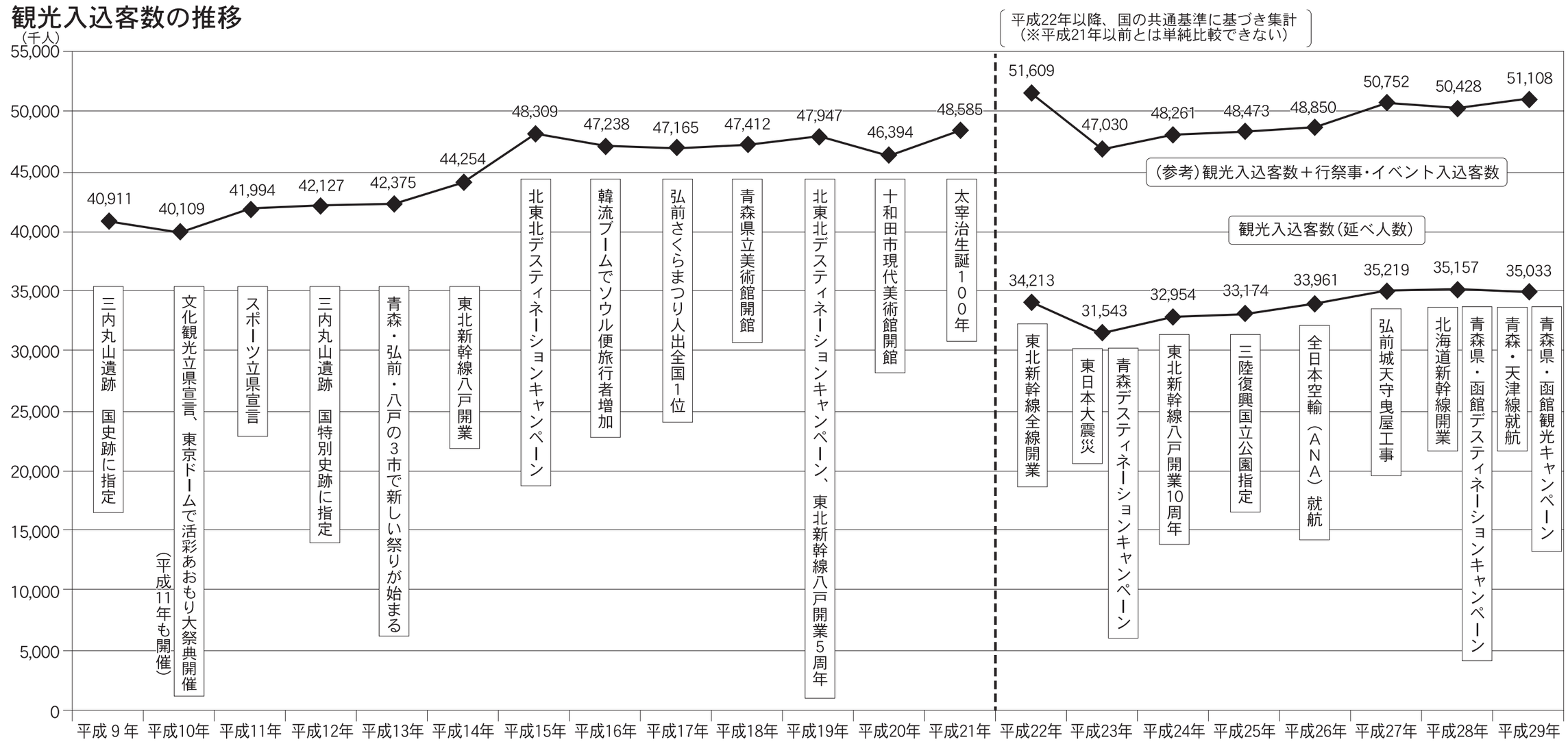
平成29年　青森県観光入込客統計

観光客延べ人数、前年並みの3503万人

観光入込客数の推移



観光入込客数の推移

（単位：千人）

区　分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	対前年比
延べ人数	33,174	33,961	35,219	35,157	35,033	99.6%
実人数	13,266	14,970	14,739	15,128	15,553	102.8%
日帰り客	8,944	10,840	10,300	10,557	11,360	107.6%
宿泊客	4,322	4,130	4,439	4,571	4,193	91.7%
宿泊客割合	32.6%	27.6%	30.1%	30.2%	27.0%	
県内客	7,958	9,035	8,398	8,311	8,903	107.1%
県外客	5,268	5,883	6,254	6,664	6,433	96.5%
訪日外国人	40	52	87	152	218	143.6%
県外客＋訪日外国人の割合	40.0%	39.6%	43.0%	45.1%	42.8%	
（参考）冬季観光客	4,239	4,466	4,294	4,989	5,333	106.9%

※実人数は、「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき算出した推計値
※（参考）冬季観光客は、平成29年１月～３月および11月～12月の合計値

観光消費額の推移

（単位：百万円）

区　分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	対前年比
総額	147,763	149,321	172,396	181,400	186,343	102.7%
宿泊費	47,432	50,321	57,156	55,951	59,580	106.5%
交通費	23,199	25,235	26,127	27,079	27,898	103.0%
土産代	37,384	34,792	43,557	48,093	47,495	98.8%
その他	39,748	38,973	45,556	50,278	51,370	102.2%

※１　観光消費額の総額は、「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき算出した推計値
　２　費目別の金額は、総額から「パラメータ調査」の費目間比率を用いて算出した参考値
　３　「その他」は、パラメータ調査の調査項目の「飲食費」「入場料」「パック料金」「その他」の合計値

調査データ

外国人延べ宿泊者数は69％増加

青森県観光国際戦略局がまとめた「平成29年青森県観光入込客統計」によると、平成29年1年間（1～12月）の同県への観光入込客数は、延べ人数で前年比0・4％減の3503万3千人、実人数で同2・8％増の1555万3千人だった。

実人数のうち、日帰り客は同7・6％増の1136万人。宿泊客は同8・3％減の419万3千人。

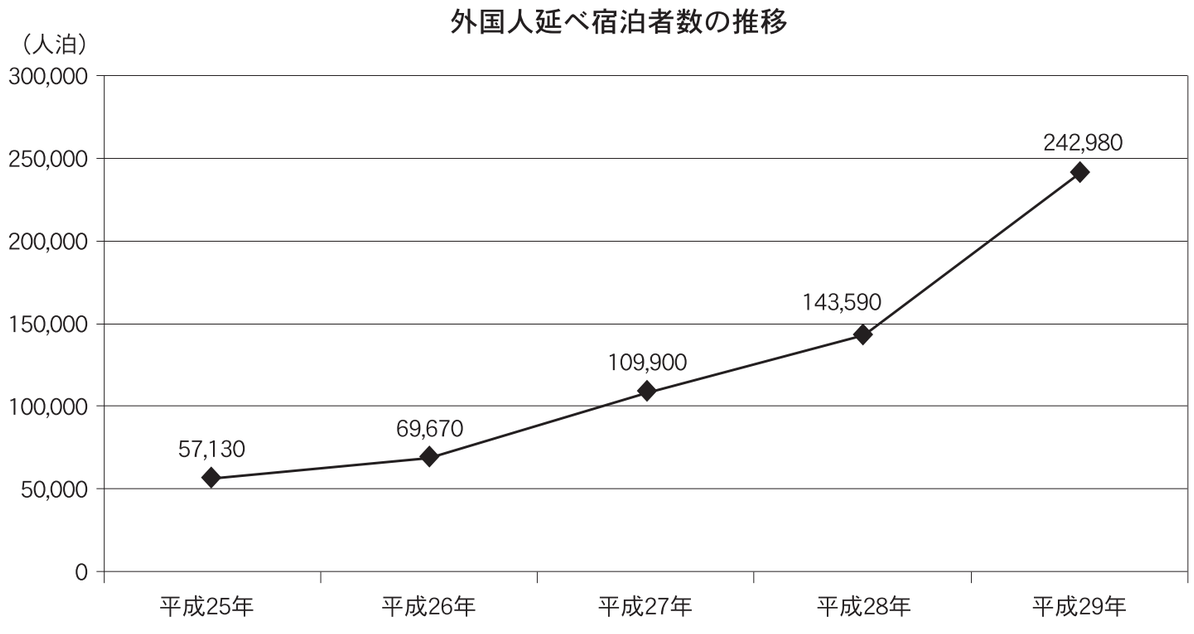
また県内客は同7・1％増の890万3千人、県外客は同3・5％減の643万3千人、訪日外国人は同43・6％増の21万8千人だった。

観光消費額は、総額で同2・7％増の1863億4300万円。費目別では、宿泊費が最も多く、同6・5％増の595億8千万円。以下、その他（飲食費、入場料、パック料金等）が同2・2％増の513億7千万円、土産代が同1・2％減の474億9500万円、交通費が同3・0％増の278億9800万円などとなっている。

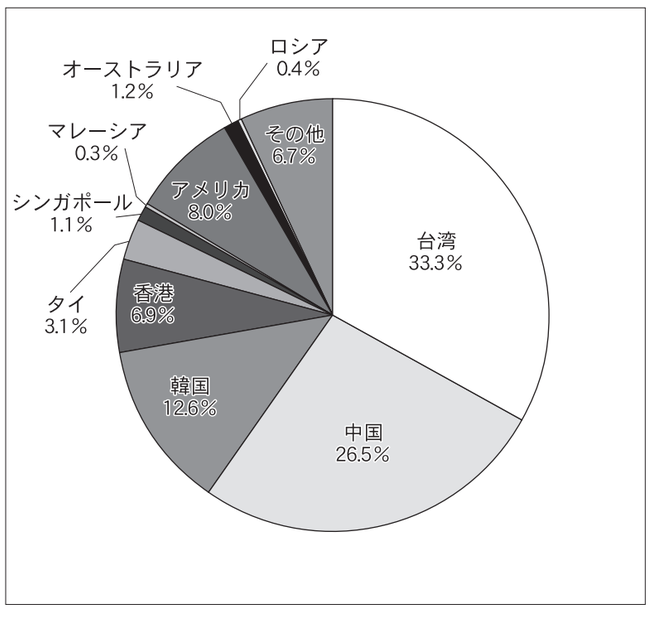
同年の同県観光のトピックスとして「青森―中国天津間、国際定期便就航」（5月）、「三沢空港、滑走路工事により運休」（5～7月）、「青森県・函館観光キャンペーン」（7～9月）、「三沢―函館線廃止、就航から4年で幕」（8月）、「青森―ソウル線、冬季機関に週3便から週5便に増便」（10月～30年3月）、「青森―台北間、定期チャーター便就航」（11月～30年3月）などが挙げられる。

観光庁「宿泊旅行統計調査」の結果により同県の外国人延べ宿泊者数を取りまとめたところ、前年比69・2％増の24万2980人泊となった。国・地域別では台湾が33・3％と最も多い。

外国人延べ宿泊者数の推移



国・地域別構成比（平成29年）



区　分	宿泊者数	構成比
台湾	80,920人泊	33.3%
中国	64,430人泊	26.5%
韓国	30,510人泊	12.6%
香港	16,670人泊	6.9%
タイ	7,510人泊	3.1%
シンガポール	2,670人泊	1.1%
マレーシア	730人泊	0.3%
アメリカ	19,510人泊	8.0%
オーストラリア	2,800人泊	1.2%
ロシア	970人泊	0.4%
その他	16,260人泊	6.7%
合　計	242,980人泊	100.0%